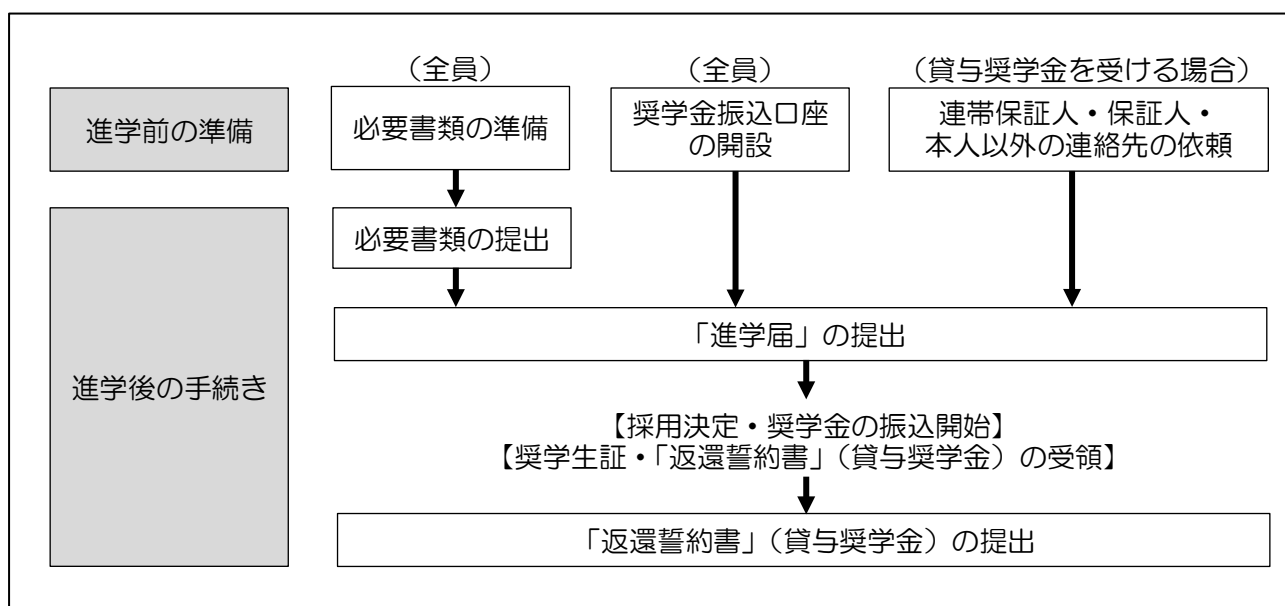


進学前準備チェックシート

このチェックシートは、日本国内の大学、短期大学、専修学校（専門課程）、高等専門学校へ進学予定の方が、進学後の手続きに必要な「進学届」の提出を円滑に行うために、進学前に予め内容の確認及び検討をするためのものです。**※海外大学進学予定の方はこのチェックシートは使用しません。**

必ず、進学するまでに、それぞれの項目について内容を確認・検討し、進学後の手続きの準備ができているか、チェックをしてください。

《国内大学等進学予定者の採用候補者決定から採用までの流れ》



※ 【給付奨学金】自宅外月額の支給を希望する場合は、自宅外から通学していることを証明する書類の提出が必要です。

（自宅外通学の支給月額の振込みは、「自宅外通学」であることの証明書類を提出し、不備なく審査終了した後になります。審査終了していない場合は、申込時に「自宅外通学」を選択している場合でも、審査が終了するまでは自宅通学の支給月額が振り込まれます。）

～「進学前準備チェックシート」の進め方～

「給付（貸与）奨学生採用候補者のしおり」を読みながら、チェックシート2ページの「項目」欄の1.から順に記入します（ただし、チェックシートの「備考」欄に指定のある場合はその項目番号に進んでください）。

「給付（貸与）奨学生採用候補者のしおり」の各説明ページに記載されている  のマークは、チェックシートの項目番号に対応しています。

※ 進学する前に必要事項をすべて記入し、他の書類と一緒に、進学後の手続きが終わるまで大切に保管してください。

《採用候補者決定通知の記載内容を確認し、検討した結果を「検討後の内容」欄に記入》

注.「併用貸与」の候補者に決定した人は、「2-1. 第一種奨学金」と「2-2. 第二種奨学金」の両方について、確認と検討を行ってください。
また、「いずれか一方の貸与奨学金の利用可」と記載されている人で貸与奨学金を利用する場合は、第一種奨学金と第二種奨学金のどちらを利用するか検討してください（進学届の提出において第一種奨学金と第二種奨学金の両方を利用することはできません）。第一種を選択した場合で給付奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

項 目	決定通知の記載内容 (まずは決定内容を確認)	検討後の内容 (検討した結果を記入)	備 考	
1. 給付奨学金	☐ 「候補者決定」	☐ 利用する ※4 ページ【A】の書類が必要 ☐ 利用しない (貸与のみ利用する場合は、進学先の学校へ申し出てください。)	給付のみ利用する (貸与は利用しない) →5. ヘ	
	☐ 「不採用」、「一」	—		
2-1. 第一種 奨学金 (無利子)	☐ 「候補者決定」	☐ 利用する ※4 ページ【A】の書類が必要 ☐ 利用しない	貸与について、第二種奨学金のみ利用する →2-2. ヘ	
	☐ 「不採用」、「一」	—		
	2-1-1. 貸与額	☐ 最高月額の利用「可」	☐ 最高月額 ☐ 最高月額以外の月額 (_____ 円)	※ 給付を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与される月額が制限されます。
		☐ 最高月額の利用「不可」	☐ 最高月額以外の月額 (_____ 円)	
	2-1-2. 返還方式	☐ 定額返還方式 ☐ 所得連動返還方式	☐ 定額返還方式 ☐ 所得連動返還方式 (2-1-3.は機関保証のみ選択可)	
		2-1-3. 保証制度	☐ 機関保証 ☐ 人的保証	
2-2. 第二種 奨学金 (有利子)	☐ 「候補者決定」		☐ 利用する ※4 ページ【A】の書類が必要 ☐ 利用しない	貸与について、第一種奨学金のみ利用する →3. ヘ
	☐ 「不採用」、「一」	—		
	2-2-1. 貸与額	☐ _____ 万円	☐ _____ 万円 (2~12 万円の中から 1 万円単位) ☐ 14 万円 (私立大学の薬学部・獣医学部のみ) ☐ 16 万円 (私立大学の医学部・歯学部のみ)	※ 第一種奨学金の保証制度と同一となります。
	2-2-2. 保証制度	☐ 機関保証 ☐ 人的保証	(2-1-2. で「定額返還方式」を選択した人) ☐ 2-1-3.で選択した保証制度 (2-1-2. で「所得連動返還方式」を選択した人) ☐ 機関保証 ☐ 人的保証 (第二種奨学金のみ利用する人) ☐ 機関保証 ☐ 人的保証	
			2-2-3. 利率の 算定方法	
	3. 入学時特別 増額貸与奨 学金 (有利子)	日本政策金融公庫 の「国の教育ロー ン」の申込	☐ 必要	
☐ 利用しない				必要書類をそろえられなかった人を含む
☐ 不要			☐ 利用する (_____ 万円) ☐ 利用しない	
			☐ 「一」	—
3-1. 利率の 算定方法		☐ 利率固定方式 ☐ 利率見直し方式	(2-2. 第二種奨学金を利用しない場合のみ選択) ☐ 利率固定方式 ☐ 利率見直し方式	

《進学するまでに確認しておく内容》

項 目	進学するまでに確認しておく内容			
4. 連帯保証人・保証人・本人以外の連絡先の情報（貸与奨学金を受ける場合）				
4-1. 連帯保証人 （人的保証） ※2-1-3. 2-2-2. のいずれか一方 でも「人的保証」 を選択した人	☐ 連帯保証人について、下記のすべての条件を満たしていることを確認し、役割について説明をしました。また、選任されることについて連帯保証人から承諾を得ています。			
	☐ 私の父母又は4親等以内の親族又は代替要件に該当する人です。 （【代替要件】に該当する場合、「返還誓約書」提出時には「返還保証書」及び資産等に関する証明書類を提出します） ☐ 私の配偶者・婚約者ではありません。 ☐ 未成年者・学生・債務整理中ではありません。 ☐ （あなたが貸与終了時点で満45歳を超える場合）その時点で60歳未満です。 ☐ 「返還誓約書」提出時に「印鑑登録証明書」と収入に関する証明書類を提出します。			
	氏名	フリガナ	月 日 年	昭・平 年 月 日
			続柄	
	住民票住所	〒	電話番号	固定：（ ） - 携帯：（ ） -
	勤務先名		勤務先電話番号	（ ） -
4-2. 保証人 （人的保証） ※2-1-3. 2-2-2. のいずれか一方 でも「人的保証」 を選択した人	☐ 保証人について、下記のすべての条件を満たしていることを確認し、役割について説明をしました。また、選任されることについて保証人から承諾を得ています。			
	☐ 私が「進学届」を入力する時点で65歳未満であり、4親等以内の親族又は代替要件に該当する人です。（【代替要件】に該当する場合、「返還誓約書」提出時には「返還保証書」及び資産等に関する証明書類を提出します。） ☐ 私及び連帯保証人とは別生計です。 ☐ 私及び連帯保証人の配偶者・婚約者ではありません。 ☐ 未成年者・学生・債務整理中ではありません。 ☐ （あなたが貸与終了時点で満45歳を超える場合）その時点で60歳未満です。 ☐ 「返還誓約書」提出時に「印鑑登録証明書」を提出します。			
	氏名	フリガナ	月 日 年	昭・平 年 月 日
			続柄	
	住民票住所	〒	電話番号	固定：（ ） - 携帯：（ ） -
	勤務先名		勤務先電話番号	（ ） -

項 目	進学するまでに確認しておく内容			
4-3. 本人以外の 連絡先 (機関保証) ※2-1-3. 2-2-2. のいずれか一 方でも「 機関 保証 」を選択 した人	☐ 指定する予定の人に役割について説明し、承諾を得ています。			
	氏名	フリガナ	月 生 年	昭・平 年 月 日
			続柄	
	現住所	〒	電話番号	固定：() - 携帯：() -
5. 奨学金振込口座				
5-1. 振込口座の 確認・選択	☐ 振込口座として使用できる金融機関の口座であることを確認しました。 ☐ 私本人名義の口座です。 ☐ しばらく使用していない等により振込ができなくなっている口座ではありません。 ☐ 貯蓄専用の口座ではなく、普通預金（通常貯金）の口座です。			
	☐ ゆうちょ銀行 → 5-2.へ ☐ ゆうちょ銀行以外 → 5-3.へ			
5-2. ゆうちょ銀行 の場合	記号： 番号： 名義（カナ）： ※ 「採用候補者決定通知」に記載されたカナ氏名と同じ名義の口座である必要があります。			
5-3. ゆうちょ銀行 以外の銀行の 場合	金融機関名： 支店名： 口座番号： 名義（カナ）： ※ 「採用候補者決定通知」に記載されたカナ氏名と同じ名義の口座である必要があります。			

《進学するまでに用意しておく書類》

2ページの「検討後の内容」でチェックを入れた項目に記載のアルファベットを確認し、進学時に必要な書類を用意しておきましょう。

チェック	アルファベット	書類の名称
☐	【A】	「採用候補者決定通知」
☐	【B】	「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」 ＋ 融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー （圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも必要）

※ 給付奨学金の採用候補者で自宅外月額を希望する場合は、「自宅外通学」であることを証明する書類（アパートの賃貸借契約書のコピー等）を用意しておいてください。進学先の学校へ提出する必要があります（詳細は、令和7年2月下旬以降、進学先の大学等に確認）。